

郷土資料館 ウィンタースクールの様子

「化石レプリカづくり」

とき 令和8年1月9日（金）

10:00～15:30

講師 別海町郷土資料館職員

参加者 7名（児童5名・大人2名）

はじめに、別海町で発見されるマンモスゾウ臼歯化石と人気のあるアンモナイトのお話をしました。

レプリカづくりは、シリコン型に石膏を入れ、整形のあと着色を行いました。

思い思いの化石レプリカが出来上がりましたが、完成度の高いものばかりでした。

【参加者の感想】

- ・マンモスゾウの歯をつくるとこが楽しかった。
- ・マンモスゾウ、アンモナイトをつくる材料で液をつくるのが楽しかった。
- ・たくさんつくれたし、上手にできたのでよかったです。色はかぶせてぬりました。
- ・マンモスゾウのはをつくるのがたのしかったです。えのぐをぬるのもたのしかったです。またいきたいです。たのしみにしています。
- ・たのしかったです。マンモウスゾウの歯を作るのがむずかしかったです。色をぬるのがたのしかったです。色をどんどんぬっていくと色がどんどんかわって、たのしかったです。べんきょうになりました。

